

1

札幌市水道記念館

施設名	札幌市水道記念館
所在地	北海道札幌市中央区伏見4丁目
施設概要	札幌市が設置する水道事業の普及啓発施設。 藻岩山山麓である中央区伏見に位置し、建物の背景には緑豊かな山容を擁し、前面には札幌の市街地を見渡すことができる。周辺には、伏見稲荷神社、藻岩山ロープウェイ山麓駅などがあり、観光客や余暇を楽しむ市民で賑わうスポットとしても注目を集める地区にある。
設立	1937年（昭和12年）に建設。 1937年（昭和12年）から1971年（昭和46年）まで藻岩浄水場の一部として機能。浄水場としての機能を停止した後、札幌市の水道創設40周年を記念するため施設を改装し、1977年（昭和52年）8月1日に札幌市水道記念館として開館。
リニューアルの経緯	札幌市の創設浄水場である旧藻岩第一浄水場の建物の一部を活用して1977年に開館後、隣接する藻岩浄水場の改修工事に伴い1997年から休館。
リニューアル後の状況	2007年リニューアル。年間9万人以上が訪れ、2013年5月には来館者数が50万人を突破、道内外からも多くの観光客が来館する。参加・体験型のアトラクションが多くあり、人と水との関わりや自然環境保護の大切さについて学ぶことができる。 施設内容 ○エントランス（水流を遡る幻想的な映像） ○水工場（水源から家庭までの工程や工夫、札幌市の水道事業を紹介） ○アクアタウン（街イメージしたゾーン。時代ごとの視点から人と水との関わりを紹介） ○サイエンスパーク（水と親しみ、遊びながら、水の不思議や素晴らしさを感じてもらうゾーン） ○水道プレイスタジオ（水道事業を理解するゾーン） ○水道記念室（水道局が所蔵する資料や収蔵品を展示し、水道事業の歴史を紹介） ○水源の森（水源の森の豊かな自然を紹介） ○コミュニケーションホール（水のイメージを配したギャラリー、サロン） ○キッズルーム（幼児と保護者を対象としたスペース） ○水の図書館（水に関する書籍、水道資料を所蔵） ○多目的ルーム（休憩スペース） 2007年（平成19年）土木学会「土木遺産」選奨 2009年（平成21年）札幌市「札幌景観資産」指定
備考	